

## 33. 県立佐原病院における下部消化管症例について

柏原英彦, 二宮 一, 松崎 功  
野口晃平, 佐藤政教 (佐原病院)

県立佐原病院は開設以来15年を経過した。今回は下部消化管手術, 特に癌腫を中心として報告した。下部消化管症例は1020例, 83%が虫垂炎, 腸閉塞症9%, 癌腫4.3%, 44例で, 比較的多数を示す腸閉塞症では半数が腸管癒着に原因し術後癒着の問題は改めて注意し直した。癌腫では高齢者に多い。部位別では直腸に多く, S状結腸, 回盲部, 横行結腸の順である。病理組織的には乳頭状腺癌が50%, 管状腺癌, 膠様癌の順であり, 下行結腸ポリープの癌化した例を経験した。大腸癌の治療に関して非切除例約30%と比較的多いが, 高度の進行癌に対し姑息的手術を行なうことは苦痛を和らげ延命効果が期待できるので試みる意義があると思われる。5年生存は直腸では57.1%と諸家の報告と同率であるが, 結腸癌では最高4.6年であった。これを考慮に入れると上部消化器癌の集団検診の効果が大きいので, 下部消化管に対しても集団検診的対策の必要を痛感した。

## 34. 左横隔膜欠損症の一治験例

篠崎良一, 石崎省吾, 大和田操, 坂田早苗  
(宇都宮外科)

消化管X線検査および胸部X線写真の結果横隔膜ヘルニアと診断し, 開腹したところ, 左横隔膜に18×15cmの巨大欠損部が認められた。

これが横隔膜ヘルニアの分類中, 何れに属するかは厳密な意味では難かしいと思うが, 左横隔膜欠損症として報告した。また, 巨大欠損部を縫合するのに, 肋骨を骨折させ, 胸郭を成形して, 行なうという珍しい方法で治癒せしめ得た症例であるので, 多少の文献的考察を加えて報告した。

## 35. 石灰乳胆汁結石の1例とその成因に関する考察

鄭 振義 (川鉄病院)

当院において本邦第15例目の石灰乳胆汁結石症例を経験した。症例は30歳男性, 昭和44年4月1日頸椎障害のため当院整形外科受診時に偶然右季肋部に単純レ線写真で陽性陰影を発見された。胆嚢造影により胆嚢と関係ある結石と診断した。昭和44年4月15日胆嚢摘出術を施行し, 胆嚢は二房性で上部の嚢は正常粘膜で黄褐色の胆汁約10ccを入れ底部の嚢との連結を認めない。底部の嚢は壁の肥厚を認め, その中には4.0×1.5×1.5cmの白色の長卵円形の結石1ヶを認めた。この結石を化学的に分析した結果炭酸カルシウムとして1000mg中910

mgすなわち91%でコレステロールは認められず。石灰乳胆汁結石は1911年Churchmannにより初めて記載された。発生機序についてはPhemisterは胆嚢管閉塞下で炭酸カルシウムが胆嚢壁より分泌されるとしMcCallは胆嚢管閉塞と胆嚢の慢性炎症による胆汁内Ca量の増加を原因としている。

## 36. 閉塞性黄疸の診断と治療 (経皮的胆管造影による)

黄 雅俊, 藤代国夫 (成東病院)

胆道系および膵胆道系疾患のX線診断は, 一般的には, 経口法および経静脈法が施行されるが, 重症黄疸を伴う場合は, 経皮的胆管造影法を行なわなければならない場合が多い。

われわれは, 過去1ケ年の間に6例の経験を得たが, 胆管癌2名, 総胆管結石1, 膵頭癌1名, 胆汁うっ滞症1名, 乳頭部 adenomyom 1名であった。

そもそも, 胆道系閉塞をきたす疾患は, その良性悪性を問わず, 患者は重症となる場合が多く, その術前診断は積極的に努力し, 外科医の適応を誤まらなければ, 延命効果を充分あげられるものである。

われわれの施行した経皮的胆管造影法は, 本学第一内科で考案, 実施しているものである。

## 37. 興味ある胆道胆嚢疾患の数例について

吉川正宏, 中村 武, 向井源太郎  
(中村(武)病院)

胆道胆嚢疾患患者の4症例を報告した。

症例1 21歳女性で胆嚢造影にて胆嚢内を横一列に浮遊せる带状浮遊性胆石で, 摘出標本では0.5×0.5cmほどのコレステリン系結石15ヶをみとめた。

症例2 63歳女性で腰痛の他は症状はなかった。胆嚢造影にて胆嚢は造影されなかったが, 右下腹部に球状の石灰化像を腫瘤としてふれた。開腹するに骨盤腔にまで下垂せる胆石症であり, 胆嚢摘出術を行なった。

症例3 45歳男性で70単位の黄疸あり, 膵頭部は硬く腫張し膵頭部癌とも思われたが, 胆道切開にて総胆管末端部に約3×2cmほどのビリルビン系結石2ヶを認め結石摘出術にて全治退院した。症例4 56歳男性, 反復する黄疸を主訴とし, 経口的バリウム造影にて十二指腸右上方に憩室様の造影剤貯溜像あり樹枝状影はなかった。胆石, 十二指腸潰瘍はなかったが, 総胆管胆嚢, 十二指腸との癒着は著名で特に胆嚢頸部, 十二指腸癒着をみとめ, この切除を行ない全治退院した。